

姉妹都市提携 30 周年記念式典 (10 月 31 日)



千葉市長によるスピーチ
平成5年にアマースト町と姉妹都市提携し30周年の節目を迎えたことから、交流30周年記念式典に訪問団全員で参加し、これまでの交流の歴史を振り返りながら、今後も交流を継続することを確認しました。千葉市長からは、これまでの30年の交流への感謝と、これからも青少年交流を中心とした交流が継続されるよう祝辞を述べました。

また、及川ここみさんと高橋李多さんがアマースト町への感謝や、研修で期待していることについて英語で挨拶を行いました。

その後、ホストファミリーとの対面式で6名がそれぞれの家庭に向かいました。

2泊3日のホームステイ (10月31日～11月2日)

～アマースト町民の温かいおもてなしに感謝～



アマースト町では、同年代の子供がいる家庭にホームステイし、中学校にも訪問しました。ホストファミリーとの様々な体験や現地の中学生とのコミュニケーションを通じて、アメリカの文化、風土、考え方などについて多くのことを学び、貴重な体験をすることができました。

研修報告会 (11月25日)



帰国後の11月25日には研修報告会を開催し、町関係者や保護者の前で1人ずつ研修成果を発表しました。



第35回金ヶ崎町中学生海外研修事業

中学生海外研修が復活 6名がワシントンD.C.とアマースト町へ

千葉和仁教育長を団長とし金ヶ崎中学校2年生6名と引率者2名が10月27日から11月4日まで7泊9日の日程でワシントンD.C.とアマースト町で研修を行いました。

これは昨年12月に同町とweb会談を行い、令和6年から5年ぶりに中学生海外研修を再開することを確認し実施したものです。

参加した生徒は千葉来那さん、澤田知花さん、佐藤光修さん、及川ここみさん、松本泰知さん、高橋李多さんの6名。事前学習会で自分たちで計画した内容に沿った自主研修や、アマースト町でホームステイを通してアメリカの歴史や文化を感じました。

今回の研修はこれまでの全額自己負担による参加から、町が補助する形で、自己負担を抑え、アメリカの文化や歴史などへの大きな関心事項を実際に見たい、触れたい、体験したいという強い思いをもつ生徒の願いを実現するため、応募者の中から6名を選考し実施したものです。

また実施時期も学校行事等を考慮し、これまでの3月から10月に変更して行いました。

ワシントンD.C.での研修 (10月28日～30日)



事前学習で生徒自ら計画した研修プランに基づいてワシントンD.C.の様々な施設を訪問し、アメリカの歴史や政治について学びました。

28日はリンカーン記念館、国立アメリカ歴史博物館、国立自然史博物館、29日はホワイトハウス、国立航空宇宙博物館、国会図書館、30日はジェファソン記念館、国会議事堂、NBA観戦など、実際に見て触れて感じることができました。生徒一人一人の興味関心に応え、一部グループ単位での研修も行い、充実した研修になりました。



1 ナショナルモール 2 自然史博物館 3 国会議事堂
4 歴史博物館で大統領体験 5 キング牧師の石造の前でポーズ



たかはし りた
高橋 李多さん

研修の中で食生活の違いやコミュニケーションのとり方など多くの発見がありました。文化の違いなどを取り入れて、将来の日本の発展のために活かしたいです。



まつもと たいち
松本 泰知さん

いろいろな場所を見学し、細部まで工夫されていることが印象に残りました。研修で学んだことを今後の人生に活かしていきたいです。



おいかわ ここみさん

海外の多様性の考え方が印象的でした。また、言語が通じなくても積極的にコミュニケーションをとる大切さを肌で感じ、今後もいろいろなことに挑戦したいです。



さとう こうしゅう
佐藤 光修さん

アメリカの学校の授業を体験し、朝にみんなで吹奏楽を行っているのが印象的でした。ホストファミリーと仲良くハロウィンを過ごせたことが嬉しかったです。



さわだ ともか
澤田 知花さん

先人達の歴史に触れ、何事にも挑戦する勇気を学びました。研修の中で多くの人から受けた愛情を大切に、これから自分が出会う人々に愛をもって接したいです。



ちば るいな
千葉 来那さん

アメリカの歴史を学び、改めて日本と交流が深いことを知りました。主菜のみというアメリカの食文化にも驚きました。素晴らしい研修でした。

海外研修に参加した 中学生6名の感想